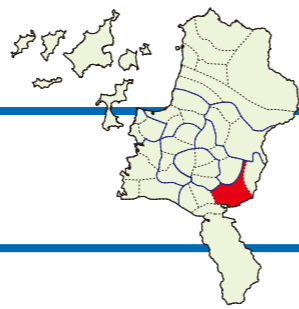


# 久米地区

面積：9.83 km<sup>2</sup>  
人口：30,497人（高齢化率 23.2%）  
世帯数：13,960世帯

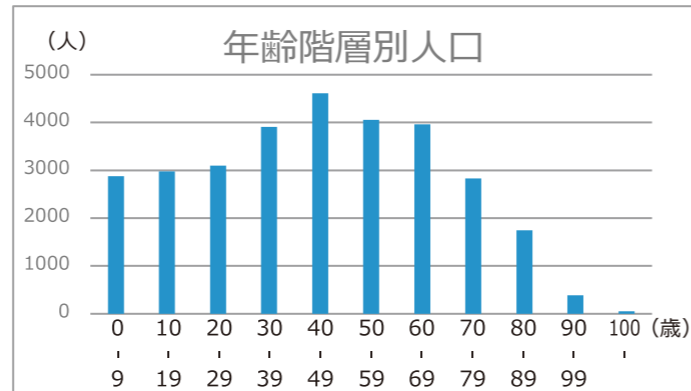


## 【地区の特色】

久米地区は、松山市の東部方面に位置し、国道11号線の整備により交通の便がよくなったことから、人口が急増しており、松山市のベッドタウンとしての性格が一層濃くなってきている。また、地下にボーリングを打ちこみ温泉の開発に成功して東道後温泉郷としても知られている。



五郎兵衛古墳群の埴輪



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域によっては人と人のつながりが密なところもある</li> <li>婦人団体連絡協議会の活動が活発 ・ 行事などへの参加者が多い</li> <li>里山公園があり世代を超えて活動している ・ 中学生が行事に積極的に参加</li> <li>城南高校の生徒が地域の活動に関わり交流がある ・ 子どもが多い</li> <li>公民館、自主防災、高齢クラブ、サロンの活動が活発 ・ 伊予鉄電車が通っている</li> <li>生活関連施設、病院、施設が多い ・ ふれあい食堂が活発 ・ 通学合宿 ・ 治安がよい</li> <li>地区内4校の小学4年生を対象とした里山キャンプがある（220名参加）</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化が進んでいる ・ 各団体の情報の共有ができていない</li> <li>商店街の衰退 ・ 防災の意識が低い</li> <li>住居地によっては交通手段がなく駅までが遠い</li> <li>町内会への加入減少 ・ オートロックマンションの増加で声かけが困難</li> <li>公園はあるがボール遊びができない ・ 子どもが外で遊んでいない</li> <li>地域活動に参加する人が限られている</li> <li>社会資源について知ってもらう機会がない</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の把握が難しく、支援が行き届かない</li> <li>認知症の見守りが難しい</li> <li>個人情報保護のため情報が把握できない</li> <li>各団体との連携⇒防災面での情報共有不足</li> <li>住居地によって生活の不便がある（交通、買い物等）</li> <li>マンションの増加による要援護者の安否確認</li> <li>社会資源の啓発がうまくできていない</li> </ul>

## 久米地区社会福祉協議会

<拠点> 松山市鷹子町 740 鷹子老人福祉センター内 2F TEL: 089-975-2882

構成団体	地区民協・町内会・自治会・母子福祉会・婦人団体連絡協議会・PTA 中学校・小学校・消防分団・交通安全協会
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回作成し、地域福祉に関する情報を発信するため町内会と連携し、広報委員を通じて全戸配布しています。
独居高齢者・高齢クラブ会員との交流会	登録している独居高齢者と高齢クラブ連合会会員を対象に、演芸発表やカラオケなどを楽しみながらの交流会等を毎年5月と10月に開催しています。
災害時等MAP作製	要支援者名簿を基に災害時等に活用できるよう、個人情報の適切な取り扱いの上、住宅地図への転記作業を行っています。

### 独居高齢者暑中・寒中見舞い（8月・1月頃）

登録している独居高齢者に対する毎月の見守りの他、お盆と年明け時期に民生委員・児童委員が自宅訪問しています。デイサービス利用などお留守の時は在宅時間を電話等で確認し改めて伺い、直接顔を見てお話しすることでコミュニケーションが取れ、暑さ寒さの時期の安否確認になります。“ありがとう”と言われるとお互いに嬉しい気持ちになり、活動の継続に繋がっています。



### <地区社協が目指すもの>

鷹子老人福祉センター内に事務所を置き、久米地区全体の福祉に関する相談窓口になっています。2017年度には町ごとに福祉施設の一覧表を掲載した福祉マップを作成して、全戸配布により福祉のしくみを紹介しました。2018年度には災害時に一人では避難の困難な高齢者や障がい者の方々がスムーズに避難できるように、要支援者への連絡方法や避難場所及び避難手段についての確認作業を進めています。また、子どもたちの登下校時の見守りも積極的に行い、小中学校との情報共有に努め、老若男女誰もが安心・安全に暮らしていける地域づくりの実現を目指しています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	39名 2名	■町内会・自治会・区長会等	12団体
	■まち協の設立	平成26年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	10クラブ 11団体 11組織

地区社協が中心となって独居高齢者や子ども達の登下校見守りなどを実施することで、全世代が住みやすい街づくりに住民とともに取り組んでいます。災害の比較的少ない地区ですが、過去に小野川の氾濫や地震などを経験していることから、防災に対する意識が高く、MAP作りや防災用品を備えるなど防災への取り組みを熱心に行っています。高齢化が進むほかマンションの増加による住民間交流の難しさはありますが、地区社協で取り組んでいる交流会や暑中寒中見舞いなどの地域内の人間関係を維持する重要な活動は継続されており、今後は多様な住民を巻き込んだ活動となっていくことが期待できる地区だといえるでしょう。



# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
中島地区	

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

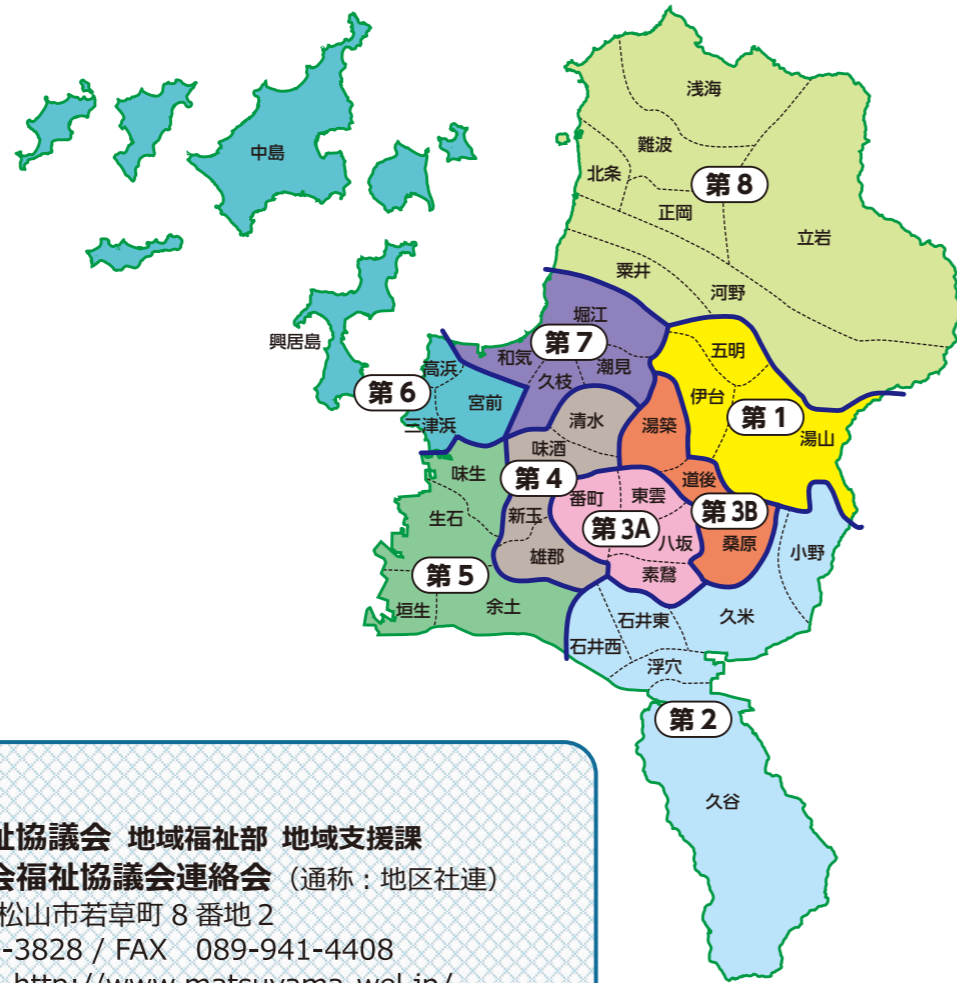
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏